

SHIMIZU

まちに気づく・まちを築く・とかち清水

—— 想いをミライに繋ぐまち ——

●表紙●

清水町本通りの街並み

●特集●

今を受け取り、未来へ—— 受け継ぐ想いが、あしたを動かす。

Nov.2025

広報しみず

11

No.801

このまちには、
時を重ねながら育まれてきた文化や産業があります。

それぞれの場所で受け継がれてきた想いがあり、
その一つ一つが、私たちの暮らしを支えています。

長く響く「第九」の歌声。
氷の上で挑み続ける若者たち。
牧場を見つめ、日々を重ねる兄弟。
そして、新しい風を起こす商店街の姿。

それぞれの歩みのなかに受け継がれてきた想いは、
新しい力となって、このまちで動き出しています。

受け継がれる想いのなかに、
このまちの未来をつくる力を一緒に感じてみませんか。



第九文化を 受け継ぐ

響き継ぐ歌声

——第九がこのまちに残したもの——

清水町のあちこちに、受け継がれてきた力があります。そのひとつが、人と人をつなぎ、心を寄せ合う文化として大切にされてきた「第九」です。

舞台で声を合わせる人も、客席で聴く人も、その音の輪のなかで、たくさんの想いを重ねてきました。そして、その輪の中心にいたのが——

清水町の第九文化を長らくけん引し、今年、名誉町民に顕彰された故高橋亮仁さんです。

高橋さんは昭和34年に、せせらぎ合唱団を創設して以来、66年にわたり合唱団を主宰。昭和55年には、合唱経験の少なかつ

た町民を集め、町文化センター落成を記念した演奏会で「ペートーヴェン交響曲第9番（第九）」の合唱を成功させました。これにより、全国のアマチュア合唱団に第九ブームを巻き起こしました。『第九のまちといえ、清水町』として全国に知られるようになったのです。

その後も、高橋さんは平成22年までの全7回、町内で開催された第九演奏会で、町民合唱団を指導し、音楽文化の発展に大きく貢献されました。その姿は多くの人に「歌うことの喜び」と「つながる力」を教えてくれました。



高橋 亮仁

たかはし・りょうじ / 昭和33年に清水高校へ音楽教師として赴任。翌年の「せせらぎ合唱団」創設以来、同合唱団を66年間主宰したほか、全日本合唱連盟理事・帯広合唱連盟理事を25年間務めるなど、音楽文化の発展に大きく貢献。今年5月に93歳で逝去され、9月に清水町名誉町民に顕彰。

“歌声を通じて人々の輪をつくる”
——その想いが、
いまも響いている。

受け取った音の記憶を、次の世代へ。

今年、十勝しみず第九合唱団をまとめる団長の梶幸雄さんも、高橋さんに声をかけられて合唱を始めた一人です。

当時の練習を思い返すと「高橋さんは『ミの音はミの音で歌う。パートで決められた音が共鳴すれば、ちょうど良い響きになる。私がそこに導くから、上手く歌おうと作った合唱はするな』と言っていました」

高橋さんが団員に求めたのは特別な技巧ではなく、まっすぐに自分の声を出すことでした。

「当時も今も、団員たちは互いに声を聴き合い、響きをそろえることを大切にしています。みんな真剣だけれども、ギスギスしていない雰囲気。この雰囲気は、今の合唱団にも受け継がれていると思います」

高橋さんのもとで培われた「音を大切にする姿勢」と「真剣さ」が今も変わらず続いています。

また、梶さんは若い世代への思いとして「未知の世界かもしれないけれど、恐れずに一歩踏み出して第九合唱に触れてもらえたらと思います。練習を重ねるなかで、全体の音がひとつにまとまる瞬間があって『今、音がひとつになった』と感じるん



です。その瞬間の喜びを感じてほしいですね」

今年12月の演奏会に向けては「町民のみなさんでつくる合唱団が、町民のみなさんへお届けする歌声です。歌う人も聴く人も感動を得られる。多くの方々に、第九を通して感動を分かち合ってほしいです」

第九の響きは、これまでも、そしてこれからも、まちの人たちの心に重なり合っていきます。

第10回 十勝しみず
第九演奏会
2025 12月21日 ※くわしくは、17ページをご覧ください。

ひとりの情熱が
まちの文化をつくり、
その想いが受け継がれて、
新しい声を生み出していく。

「第九」の響きは、これからも
このまちの心に生き続けます。

アイスホッケーを受け継ぐ

氷上に刻まれた誇り

——このまちの冬を熱くする物語——

清水町の冬を語るとき、そこにはいつもアイスホッケーがあります。その情熱をこのまちで長くつないできた人物のひとりが、水津栄次郎さんです——。

清水高校時代、先輩に誘

われたのが水津さんとホッケーとの出会いでした。

「当時は屋外リンクで、水撒きからすべて、まちの人たちの力を借りて一緒に作業しました。まちの人たちは、本当に協力的でした」地域が一体となって、ホッケーが少しずつ盛り上がったといったといいます。

水津さんは実業団を経て引退後、平成14年から今春まで清水町アイスホッケー協会長・理事長を務め、同協会のNPO化や大会運営など、まちのホッケーを支え続けてきました。

後進育成にも力を尽くし「ホッケーのために何かしたい」と仲間が言えば、いつも背中を押してきました。「反対したことはないですね。みんなホッケーを愛していますから。清水町では指導者協議会もずっと続いていて、指導の力もみんなを受け継いできました」

好きが原点。
“仲間と一緒にだから、
続けてこられた”

実業団出身の指導者が多く、指導者同士が力を合わせてきたことも、このまちのホッケーの強みです。

そして、若い世代へは「ホッケーを続けてほしい。続けることで一人一人が何かをつかめると思います。これまで見てきた子どもたちは、みんな良い表情をし

ていました。その表情を見ると、ホッケーが今も清水町で生き続けているんだなと感じますね」

最後に、「自分にとってホッケーとは何ですか?」と尋ねると、にこやかに笑って答えてくれました。「やっぱり『好き』という言葉が出てきますね。一人

ではなく、仲間と一緒にやるスポーツだからこそ、ここまで関わり続けてこられたんだと思います」

清水町アイスホッケーのルーツはこちらから



前 清水町アイスホッケー協会長・理事長
すいづ えいじろう
水津 栄次郎さん

アイスホッケーと一緒に育ってきた。
——今度は自分がつないでいく。

清水高校3年生
アイスホッケー部
おた しやうい
太田 匠威さん

生まれも育ちも清水町。父と兄姉がアイスホッケーに親しみ、幼い頃からリンクに立つのが当たり前だったという太田匠威さん。

現在は、清水高校アイスホッケー部に入り「御影にいつでも滑れる屋内リンクがあって、切磋琢磨できる仲間もいます。環境と仲間に恵まれ、探求心が尽きません。ずっと追いかけたくなるスポーツ」と話します。ホッケー部では、技術だけでなく『人間力』が一番成長したそうです。

「地域の方々や家族の支え

があるからこそ、自分たちのホッケーが成り立っているの、試合結果で恩返ししたいという気持ちが強くなりました」

幼い頃から一緒にプレーしてきた宮間健年（同校3年）さんと、これまでを振り返ると「高校3年間ほとんど毎日続けた陸上トレーニングが、厳しい状況になったときの自信につながっています。監督の『運根鈍』という言葉を胸に、粘り強くやり抜く姿勢も大切にできました」このまちで先輩たちが築い



みやま けんねん
おた しやうい
宮間 健年さん



好きな気持ちがつながり、
世代を超えて受け継がれていく。

氷上の軌跡は、
過去と未来を結ぶ希望のライン。

感謝と努力の心を、まっすぐに託す。

諒也さんと将平さんが働く株式会社藤井牧場は、二人のお父さんの代から兄弟で酪農を受け継いできました。現在は、お父さんの稔さんが経営、弟の智さんが現場を担当しています。父兄弟の代では、従業員が安心して働ける職場をつくろうと法人化を進め、福利厚生や労働時間の整備にも力を入れてきました。

稔 地域の先輩たちに追いつきたいので必死に頑張ってきました。弟には家族という絶対的な安心感があり、なんでも頼られて協力し合えることが支えになっています。

智 家族経営の頃から、みんなで頑張ろうという意識を大切にしてきました。その気持ちを今も大切に働いています。



ふじい みのる
藤井 稔さん(兄)

ふじい さとし
藤井 智さん(弟)

とのつながりも大切にしてきました。だからこそ、息子さんたちに受け継いでもらいたい思いがあります。

稔 息子たちには、地域や多くの人に助けられていることへの感謝の気持ちを忘れず、努力を惜しまずにやってほしいです。

智 一人ではどうにもならないこともあるので、協力し合いながら、思いやりを大切にしてほしいと思います。

父兄弟の姿勢は、未来を担う息子たちへとしっかりと受け継がれています。



株式会社藤井牧場
ふじい しょうへい
藤井 将平さん(弟)

株式会社藤井牧場
ふじい りょうや
藤井 諒也さん(兄)

牛を想う、その日々が、
営みを育てていく。

農業を受け継ぐ

大地に息づく営み

——このまちの明日を育てる手——

清水町の基幹産業である農業。なかでも酪農を家業として受け継いだ兄弟がいます。兄の藤井諒也さんは

大学卒業後、牛の改良に関わる会社を経て昨年帰郷。弟の将平さんも搾乳農家で経験を積み、今年帰郷しました。

諒 もともと継ぐ気でしたが、30代になってそろそろだなと。帰ってきたからにはやるしかないので、必死に仕事を覚えていきます。将 自分も帰ってきたかったので、兄と一緒にやろうと思いました。帰ってきたばかりなので、みんなに支えてもらいながら、できることを増やしています。

家族の背中を見て育った

二人ですが、継ぐ前と今では、家業の見え方に変化があるそうです。

諒 実際に働いてみると、思っていた以上に複雑な仕事で、考えないといけないことが多いです。

将 一つ一つの仕事に、どういう意味があるのかを、もっと深いところまで考えるようになりましたね。

諒 牛の能力をもっと上げたいと感じるようにもなりました。遺伝的な面も意識して改良を進めたいです。

将 僕も兄に賛成しています。牛の健康管理や病気の早期発見に力を入れたら、

これまでの取り組みをしっかり継承したいです。

現場を理解しながら日々奮闘し、新しい挑戦に意欲的になれるのも、兄弟が隣にいてこそだといえます。

諒 弟は、観察力があって頼もしいです。自分も負けないと思っっているのでも、お互いにレベルアップしていけると良いですね。将 わからないことは兄に頼っています。自分で調べたことも二人で情報共有しています。

将来の牧場像について聞くと、このまちで酪農を受け継いでいく覚悟が感じられました。

諒 みんなが働きやすく、牛と人を大切にしながら利益も出せる牧場にしたいです。

す。それが地域貢献につながれば最高だと思います。代々続けてきた『牛を大切に飼うこと』は、ぶれずに、清水町の基幹産業としても

地域を支えていくことができればと思います。自分が酪農をやりたいと思ったように、次の世代にも魅力を伝えていきたいです。

将 ここで働く全員に活力があって、一つの目標に向かって力を合わせて頑張れるような会社になりたいです。兄も言うように、継いできたものが途絶えないよう、大事な部分は、ぶれずに次の世代につないでいきたいです。

日々の手の動きのなかに、受け継がれた想いと、確かな営みがある。

このまちの農業は、力強く未来へと続いています。

経験と想いが、次の挑戦を照らす。 挑戦への一步が、新しい風を起こす。

この特集で見つめてきたのは
清水町のなかで受け継がれ、今も息づいている
「人の想いと行動」です。

文化を守り、
氷上で挑み、
牧場を見つめ、
商いに向き合う――

それぞれの場所で、
誰かの想いが形となり、
まちに力を生み出しています。

受け継ぐということは
過去をなぞることではありません。
今を生きる私たちが、
新しい挑戦や工夫を重ね、未来につなげていくこと。

その歩みが
このまちの今日をつくり、
未来を動かす原動力になっています。

誰かの挑戦を応援すること。
地域の出来事に目を向けること。
日々の小さな一歩が、
まちのあしたをつくっていく。

今日もまた、
新しい挑戦が、
清水町のどこかで始まっています。

今を受け取り、未来へ―― あしたを動かす力は、あなたのなかにあります。



昭和2年創業、清水町で
およそ百年続く精肉店を
営む辻屋裕康さん。小
さい頃から、親の働く姿を見
て育ち「継がなきゃつづれ
る。それはもったいないな
と思ったんです」と話し
ます。道内企業で働いた後、
食肉専門学校で学び、家業
を継ぎました。

時代とともに商売の形も
変わっていききました。辻屋
さんから始めたSNSでの
発信は、新たなお客さんを
生み「変えていかないと行
き詰まる。変わる部分を
日々探しています」
今、特に辻屋さんが気に
かけていることは若い世代
の挑戦です。「応援したい
し頑張っしてほしいです。商
売を始めるのは簡単ではな
いけれど、ここでもともと
商売をしてきた人たちは、
人との関わりを大事にして
きました。そういう人た
ちを頼れたら心強いはず。
話してみれば、きつと力に
なってくれると思います。
もちろん僕も」と話します。
辻屋さんの言葉には、こ
のまちの商いを見つめてき
た人ならではの温かさがあ
りました。その姿は、これ
から挑戦していく世代の、
道しるべになっています。



商いを受け継ぐ

地域とともに歩み、受け継ぐ価値
――このまちの商いのかたち――



西村金物店
なまため かずさ
生天目 一総さん

長く続いた金物店が閉店
を余儀なくされた――。
その知らせを聞き「困っ
ているなら、できることが
あるかもしれない」と、ひ
とりの若者が動きました。
地域に必要なとされてきたお
店を、このまま終わらせた
くない。そんな思いで再び
開く決意をしたのが、現在
の西村金物店店主、生天目
一総さんです。

生天目さんは、音更町出
身。地域の課題に目を向け
行動で応えていく『地域プ
レーヤー』として、清水町
とのつながりを持ったのが
きっかけでした。
最初は不安も多く、在庫
整理や運営方法に苦労の連
続でした。それでも、まち
の人たちからの「開いてく
れるの?」「助かるわ」「あ
りがとう」という言葉が背
中を押してくれました。
『清水町に来て感じたのは
人のあたたかさです。商工
会青年部のみなさんも気
さくに迎えてくれました。
『困ったときは言えよ』と
声をかけてくれて。相談で
きる仲間ができました』
日々の仕事で大切にしてい
るのは「感謝の気持ち。
お客さんがいるから成り
立っているの、要望には
全力で応えたい。『困った
ら生天目くんのところだよ
ね』と言われる存在を目指
しています」と話します。
清水町で挑戦したいと思
う人たちは「まずは一歩
踏み出してみてほしいで
す。ここには、困ったら助
けてくれる人がたくさんい
ます。僕もその一人になれ
たら、うれしいです」
このまちに縁もゆかりも
ない若者が、このまちの老
舗を守る――その姿は、
このまちで『継ぐ』ことの
新しい形を表しています。

にんにくの産地として2019年から開催 第7回十勝清水にんにく肉まつり

10月4日、ホクレン清水製糖工場広場で、「第7回十勝清水にんにく肉まつり」が開催されました。会場では、十勝若牛のバーベキューや、にんにくを使ったさまざまな料理が提供されました。昨年に続き、町内外から大勢の来場者が清水町を訪れ、思い思いの時間を楽しませていました。



そさい 蔬菜振興会が ブロッコリーを無償提供

10月7日、清水町^{そさい}蔬菜振興会ブロッコリー部会が、町内小中学校にブロッコリー48kgを無償提供しました。児童・生徒たちは翌日の給食で、ブロッコリーのポン酢和えとして、地元で育てられた新鮮な野菜を味わいました。



そさい 蔬菜振興会が 白菜を無償提供

10月2日、清水町^{そさい}蔬菜振興会白菜・キャベツ部会が、町内小中学校に白菜37kgを無償提供しました。児童・生徒たちは翌日の給食で、白菜のおかか和えとして、地元で育てられた新鮮な野菜を味わいました。



第70回 開町記念式

10月1日、「第70回開町記念式」が文化センターで開催されました。自治功労賞（特別自治功労）に阿部一男さん、社会功労賞に水津栄次郎さん、川端和仁さん、勤続表彰に石原裕子さんが表彰されました。



走ろうカメの子大会 駅伝カメの子大会

10月13日、清水小学校周辺で清水町スポーツの日記念大会「走ろうカメの子大会・駅伝カメの子大会」を開催。幼児から大人まで、マラソンに54名、駅伝に3チームが出場。完走後の参加者には達成感や爽快感があふれていました。



植村土建株式会社へ 感謝状贈呈

10月9日、植村土建株式会社（新得町／代表取締役社長 植村高愛さん）に社会貢献活動への感謝状を贈呈しました。同社は、人舞福祉館敷地内のアスファルト補修活動を実施し、施設の環境向上に貢献されました。



アンサンブルグループ 奏楽ロビーコンサート

10月7日、文化センターホワイエでアンサンブルグループ奏楽のロビーコンサートが開催されました。オペラ座の怪人～Think of meほか全15曲を披露。美しい音色と歌声が響き、会場は感動の空気に包まれました。



観客へ全力のパフォーマンス

スタジオZEROダンスコンサート

10月12・18・19日、スタジオZEROダンスコンサートが文化センター大ホールで開催されました。主宰の細野ひとみさんは「今回は、みんなに未来に向けて大きく夢見て頑張ってくれという気持ちを込めました。みんなが良い表情で踊ってくれて本当にうれしい、自慢の生徒たちです」と話されました。

町行政相談委員と地域おこし協力隊の懇談会 まちの地域課題について意見交換

10月16日に、町行政相談委員 横山美貴子さん、行政相談の窓口・釧路行政監視行政相談センター（総務省）、地域プレーヤー、地域おこし協力隊との懇談会が開催されました。お互いの日々の活動のなかで感じる地域課題や困りごとなどについて、活発な意見交換が行われました。



清水高校で食品について学ぶ2年生6名

パン甲子園2025で2つの賞を獲得!!

パン甲子園2025で、同校2年の川端一剣さん・三好夏美さん・諸橋奏太さんの「Bicolor Bread Miso B2(右上)」がグランプリ、久保田詩果さん・松浦叶愛さん・松久ゆきのさんの「和・食パン 長芋酒粕風味(右下)」がアイデア賞を受賞。グランプリチームのみなさんは「優勝できてうれしいですが、自分たちの理想には、まだ先があると思いました」と感想を話されました。



商店街の魅力を届けるために—— ペケレベツだよ! 全員集合

10月25・26日、「ペケレベツだよ! 全員集合(まちの芽ミルフル主催)」が開催。25日は駅前商店街で商店をめぐるスタンプラリーが行われ、26日は文化センターで住民トークショーなどが行われました。トークショーでは、まちの芽ミルフル代表の山岸麻美さんや町長らが地域活性化について語り合いました。

ふれて学ぶ、防火のきほん

第8回防火フェスティバル

10月19日、第8回防火フェスティバルが清水消防署で開催されました。放水、119番通報、煙、救助、はしごなどの各種体験コーナーが設置されたほか、消防車との綱引きが行われました。参加した子どもたちは「どれも楽しかった!」と、笑顔いっぱいに感想を話してくれました。



株式会社牧野電気へ 感謝状贈呈

10月21日、株式会社牧野電気(清水町/代表取締役 牧野詔康さん)に社会貢献活動への感謝状を贈呈しました。同社は、清水市街地の外灯清掃活動を行い、景観の美化と公共施設の維持管理に貢献されました。



おやこでいっしょに! ピザづくり体験

10月19日、町子ども会育成連絡協議会が「おやこでいっしょに! ピザづくり体験」を開催。親子10組が参加し、minoripizzaさんからピザ生地の伸ばし方やトッピングなどを教えてもらい、ピザ窯で焼き上げました。



障がいがある方の 自立について考える

10月14日、老人福祉センターで、清水町出身の松原健さんによる講演会を開催。松原さんは仕事上の事故で、人工呼吸器を使用して生活するようになりました。講演では、そういった障がいがある方の自立について話されました。



シルバー人材センター 落ち葉集めボランティア

10月28日、町シルバー人材センターによるボランティア活動が行われました。清水地区10名、御影地区9名の会員による、図書館と農村環境改善センターの落ち葉集めが行われ、施設の環境整備に貢献されました。



体育館に 天然モール足湯が登場

10月24日、町体育館に天然モール足湯（帯広天然温泉ふく井ホテル）が登場。パークゴルフなどの運動後、町民のみなさんがリラックスできるよう、(株)ソルプレーサ・イノベーションズ（体育館指定管理者）が企画しました。



御影中学校3年生が 清水町長と未来を語る会

10月24日、「御影中学校3年生が清水町長と未来を語る会」を開催。生徒は総合的な学習の時間を通して、町のために自分たちに何ができるのかを考え、町長らへ二酸化炭素排出量の削減に向けた提案などについて発表しました。



地域の職場で“働く”を体験

御影中学校2年生インターンシップ

10月23日、御影中学校2年生26名がインターンシップを通して町内各企業等を訪れました。特別養護老人ホームせせらぎ荘で実習した光井れいさんは「お年寄りに優しく接したり、言葉遣いに気を付けることを学びました」と話されました。役場では、山本梨未さんが広報紙編集の実習を行いました。

※本記事は役場へインターンシップに来た御中生と編集しました。

体育館をもっと身近に—— 清水町健康教室が初開催

10月23日、清水町健康教室が町体育館トレーニングルームで開催されました。講師の工藤貴彦さん（清水町出身）から、普段動かない筋肉の動かし方などが伝えられ、参加者は「普通に歩くだけではなく、ストレッチをする重要さがわかりました。また開催してほしいです」と感想を話されました。



※本記事は役場へインターンシップに来た御中生と編集しました。



普段見られない仕事の裏側を体験!!

清水中学校2年生インターンシップ

10月30日、清水中学校2年生47名がインターンシップを通して町内各企業等を訪れました。サツドラ十勝清水店で実習した松浦悠翔さんは「品出しをしてみて、きれいに並べるのが大変だと感じました。お店の方が優しく接してくれて、良い職場だと思いました」と感想を話されました。役場では、森莉唯菜さんと渡辺一華さんが広報紙編集の実習を行いました。

※本記事は役場へインターンシップに来た清中生と編集しました。



街中に子どもたちの笑顔があふれる

しみずハロウィンウォーク

10月25日、「しみずハロウィンウォーク（町商工会青年部主催）」が開催。大勢の子どもたちが街中を歩き回り、しみずおばけくんを探しました。同部長の徳田貴士さんは「子どもたちが楽しんでいる笑顔を見ると、やりがいを感じます。来年も今年以上のことをやりたいと思います」と話されました。

各種コンテストや出店などの活動報告に 清水高校産麓クラブが表敬訪問

清水高校食品ビジネス系列産麓クラブが、とかちマルシェ料理甲子園、ハイスchoolパーティシエロワイヤルなどのコンテスト受賞作品や、とかちマルシェの出店商品を持参し、町長・教育長を表敬訪問。3年生の加藤瑠惟さんは「まちの支援や応援により食品開発ができることに感謝します」と話されました。





歡喜の歌におもいを寄せて

ソプラノ 延与 幸恵
アルト 松田 久美
テノール 岡崎 正治
バリトン 今野 博之

指揮 杉原 直基
管弦楽 帯広交響楽団
合唱 十勝しみず第九合唱団

第10回 十勝しみず 清水町文化センター開館 45 周年
交響曲「第九」200 周年記念

第九演奏会

帯広交響楽団特別演奏会

L.v. ベートーヴェン／交響曲第9 番 ニ短調 作品 125 「合唱付き」 J. シュトラウスⅡ／美しく青きドナウ

2025 **12/21** 日
清水町文化センター 大ホール
開演 14:00
開場 13:15

入場料（全席自由）
高校生以上 2,000 円
中学生以下 無料 ※要整理券
チケット取扱所 清水町文化センター、御影公民館、新得町公民館、
鹿追町民ホール、芽室町中央公民館、
帯広市民文化ホール「チケットらいぶ」

主催：十勝しみず第九演奏会実行委員会 共催：清水町、清水町教育委員会
後援：北海道新聞帯広支社、十勝毎日新聞社、NHK 帯広放送局、HBC 北海道放送、おびひろ市民ラジオ FM WING、
JAGA、帯広合唱連盟、清水町文化協会協議会
助成：公益財団法人北海道市町村振興協会、一般財団法人北海道公立学校教職員互助会
17 SHIMIZU 2025.11 問い合わせ先：清水町文化センター 上川郡清水町南 3 条 3 丁目 1 番地 電話 0156-62-5115



戸籍の窓口 問 町民生活課戸籍住民係
☎62・1151

誕生 / Birth

良玄 惺ちゃん（志温さん・柚香さん）西清水

結婚 / Marriage

工藤 海翔さん ♡ 大渕 倅奈さん（新栄）
中澤 優人さん ♡ 田阪 美穂さん（栄）

哀悼 / Condolences

木村 正一さん	鉄南（清水）
児玉 つるさん	日光
角川 一恵さん	朝日
堀 澄子さん	西松沢
山岸 政勝さん	本通3
杉渕 春雄さん	富士

Check



「清水町観光協会 Instagram」
では、清水町のグルメやイベン
ト情報、各地物産展の案内など
をお届けしています！

Mayor's Diary

町長日記

小さな町でも世界とつながれる！

10月30日、J A 十勝清水町
の今野組合長とともに、東京
都内でローマ教皇庁大使館と
ダライ・ラマ法王日本代表部
を訪問しました。
ローマ教皇レオ14世の就任
祝いと、ダライ・ラマ法王の
90歳の誕生日祝いとして、清
水町産の大豆と小豆（紅白）
を献上。
いずれも平和と友好の祈り
を含めたもので、教皇と法王

に献上した大豆や小豆とし
て、清水町の産品に新たなス
トーリーが加わりました。
宗教や国境を超え、町の真
心が世界とつながることを実
感した一日。駐日ローマ教皇
庁大使モリーナ閣下（写真中
央）からは、来年5月に清水
町を訪問したいとお言葉も
いただきました。これからも
「食と心」で世界に誇れる清
水町を目指してまいります。



Creation Station

ちようみん作品館
玲瓏短歌会より短歌の寄稿をいただきました。

愛子さまの誕生は「成田」の搭乗待ちで 華と気品皇后に並ぶ	頂きし今年のサンマ大型で 脂ものりのり最高の味	卒寿にて吟七十五年の大会に 独吟出来るは吾のよろこび	孫娘より敬老祝いに水色の マフラープレゼント早速まどふ	大根を何時 ^{いつ} 時いたのか忘れしが 太ってくれよと放置しまゝに	彼岸なかコスモスゆらぎ佇みて 一 ^つ 枝手折り夫の仏前	生きている只それだけで嬉しいよ 愛犬の無心が心に染みる	平均寿命長くなりたる世にありて 常に気遣ふ体調管理
橋本佳代子	宇野映子	宇野忠義	安済哲子	大石 尚	藤原静子	村谷三恵	田村徳子



毎月さまざまなイベントや講座を開催しています!! ぜひご参加ください!!

Event

特設人権相談所

12月5日(金)

清水会場 10:00～12:00
保健福祉センター ミーティングルーム

御影会場 13:00～15:00
御影公民館 第1研修和室

いじめや虐待などの子どもの人権問題、障害者差別、高齢者虐待、インターネット上における誹謗中傷など、人権に関する悩みごとや困りごとに関するご相談に、人権擁護委員が応じる特設人権相談所を開設します。

対象 町民 料金 無料 申込 不要
問 保健福祉課福祉係 ☎69・2222



わたしたちが 清水町の人権擁護委員です!!

人権擁護委員とは、人権相談を受け、問題解決のお手伝いをしたり、法務局職員と協力し人権侵害による被害者の支援をしたり、人権について関心を持ってもらえるような啓発活動を行っています。

Lecture

御影公民館講座

大豆コロッケ & あったかスープ教室



12月6日(土) 10:00～11:30

大豆でコロッケを作りましょう! 身体が温まるスープの他、ドライトマトのガーリック炒、南瓜サラダも作ります。

会場 御影公民館 2階調理室 対象 町民
定員 10名程度 料金 2,000円
講師 癒食 kitchen 三浦智代江さん
持ち物 エプロン、三角巾、ハンドタオル
申込 11月21日(金)～11月28日(金)まで
問 御影公民館 ☎63・2111

Event

第27回 しみずっこ地域食堂

12月13日(土) ① 11:00～
② 12:00～

ご家族や友人と一緒に参加してみませんか? 会場までは買い物銀行バスをご利用いただけます。

会場 清水町老人福祉センター
申込 12月1日(月)～12月12日(金)まで
メニュー からあげ、ミネストローネ 他
料金 高校生まで無料、大人 200円
問 清水町社会福祉協議会 ☎69・2200

Event

さんさんカフェ 12月

町内飲食店で行うサロンです。特別メニューと交流イベントが楽しめますので、お気軽にご参加ください。65歳以上の人には各店で使える割引券をお配りしています。



清水焙煎珈琲

12日(金) 11:30～13:30
連絡先 ▶ 本通5丁目3 ☎67・9430

ふるカフェ カマクラヤ

19日(金) 14:00～15:00
連絡先 ▶ 御影東1条2丁目17 ☎67・7711

パーラー樹

18日(木) 13:00～14:00
連絡先 ▶ 南1条3丁目2 ☎62・2592

対象 町民 料金 500円(税込) 定員 各店10名
申込 前日までに各店連絡先へ電話
問 保健福祉課在宅支援係 ☎69・2233

Event

動画で旅する十勝の歴史 移動展

12月16日(火)～12月23日(火)
9:00～18:00 ※16日は13:00～
昭和40年代から50年代にかけて撮影され、デジタル化された資料の中から、十勝での暮らしやお祭りの様子がわかる動画を紹介する移動展を開催します。

会場 文化センターロビー 料金 無料
問 社会教育課社会教育係 ☎62・5115

Event

北海道十勝しみず吹奏楽団 第4回定期演奏会

12月7日(日) 13:30開場 14:00開演

ホワイエにて13:35～
プレコンサートも行います。たくさんのご来場をお待ちしています。



会場 文化センター大ホール
料金 無料(要整理券)
申込 チケットを文化センター、御影公民館などで配布しています。QRコードから申込も可能です。
問 社会教育課社会教育係 ☎62・5115

Lecture

中央公民館講座

多文化講座



～北京料理を作って交流しよう～

11月29日(土) 11:00～14:00

中国・北京出身で御影地区に移住してきた唐島 勉さんを講師に迎え、中国北京料理を作って交流してみませんか。

会場 文化センター
対象 町民または町内在住の外国の方
定員 24名 料金 1人1,000円(当日徴収)
持ち物 エプロン、三角巾、飲み物
申込 11月25日(火)までに、問い合わせ先へ電話またはQRコードから
問 社会教育課社会教育係 ☎62・5115
共催：青年海外協力隊北海道道東OB会
協力：JICA北海道帯広

募集

令和8年度「こども園」「学童クラブ」利用者募集

募集期間

令和7年12月12日（金）まで

募集施設・定員

- ・しみず認定こども園200名
- ・御影こども園80名
- ・清水学童クラブ100名
- ・御影学童クラブ60名

申込方法

利用を希望する各こども園、学童クラブまたは子育て支援課へ利用申込書、就労証明書などの必要書類を提出してください。

なお、現在施設を利用中で次年度も継続して利用を希望される場合も改めて申込みが必要です。必要書類は町ホームページのほか、各こども園、学童クラブ、子育て支援課で配布しています。

入園できる年齢

- ・1号認定（教育認定）

令和2年4月2日から令和5年4月1日までに生まれた児童で満3歳に達した児童

※土曜日は休みで保育時間も短い

ですが、就労状況に関係なく利用できます。

- ・2号認定、3号認定（保育認定）満10か月に達した翌月から利用できます。

※就労などの保育の必要な理由がある場合に利用できます。

- ・学童クラブ

令和8年4月現在で小学校1年生から6年生の児童

※原則、日中保護者が家庭にいないまたは育成が必要な場合に限られます。

子育て支援課児童保育係

☎ 69・2226



ホームページ

町長とのふれあいトーク

町政への要望など、町長と直接お話しできます。電話、リモートでの対応も可能ですので、問い合わせ先へ事前にご連絡ください。

日程 12月9日（火）

リモート申込期限

12月2日（木）

企画課広報広聴係

☎ 62・2114

あげます・ゆずってください

無償であげたい・ゆずって欲しいものを掲載しますので、問い合わせ先へご連絡ください。

受け渡しは当人同士でのやりとりとなりますのでご了承ください。

あげます

- ・8ℓ保存びん（4本）
- ・整理ダンス（140cm程度）
- ・シルバーカー

企画課広報広聴係

☎ 62・2114

自衛官募集

自衛隊帯広地方協力本部では、自衛官候補生、一般曹候補生、陸上自衛隊高等工科学校生徒を募集します。詳細は、同本部ホームページをご覧ください。

自衛隊帯広地方協力本部

☎ 0155・23・8718



ホームページ

お知らせ

納税だより

税金は納期内に納めましょう。

納付には、確実に安心な口座振替をおすすめしています。納期内の納付が難しいときは、問い合わせ先へご連絡ください。

11月の納期限 12月1日（月）

- ・固定資産税（第4期）

- ・国民健康保険税（第5期）

12月の納期限 12月22日（月）

- ・町道民税（第4期）

- ・国民健康保険税（第6期）

問 税務課納税係

☎ 62・1152

町スポーツ・文化大会等出場奨励金支給要綱の一部改正

町では、十勝大会より上のスポーツ大会などに出場する人へ奨励金を支給しています。

このたび、支給要綱の一部を改正しましたのでお知らせします。

支給要件は、十勝地区などの予選会の結果や地区代表として選抜された人ですが、小中学生においては、地区予選会が参加者数減により、開催されずに地区代表となった場合も支給対象となっております。

該当となる場合がありますので、問い合わせ先までご連絡ください。

なお、詳しい支給要綱、申請様式は町ホームページをご確認ください。

問

子育て支援課児童保育係

☎ 69・2226



ホームページ

令和7年度清水町会計年度任用職員募集（保育士：フルタイム・パートタイム）

雇用区分	会計年度任用職員（フルタイム）		会計年度任用職員（パートタイム）
職種	保育士 若干名		教育・保育補助 若干名
応募資格	・保育士資格、幼稚園教諭（二種以上）の免許を有する人、取得見込の人 ・普通自動車免許を有する人、取得見込の人 ・心身ともに健康な人		・心身ともに健康な人
任用期間	令和8年1月1日～令和8年3月31日（勤務成績により再任用の場合あり）		随時～令和8年3月31日（勤務成績により再任用の場合あり）
勤務場所	しみず認定こども園または御影こども園		
勤務内容	こども園における教育・保育業務		こども園における教育・保育補助
勤務時間	月～土 7時15分～18時35分（シフト勤務）		
給料・休暇・手当	詳細は町ホームページまたは問い合わせ先までご確認ください。		
提出書類	自筆履歴書（市販のもので顔写真付きのもの）、最終学歴の卒業証明書または卒業見込証明書、資格取得証明書の写しまたは資格取得見込証明書		
提出期限	令和7年12月5日（金）必着		随時募集
採用方法	面接を行い決定する		面接または書類選考を行い決定する
提出先	〒089-0111 清水町南3条2丁目1番地 清水町保健福祉センター内 子育て支援課児童保育係		

式は町ホームページをご確認ください。

問 社会教育課スポーツ係

☎ 62・5115



ホームページ

文芸しみず24号を発刊しました

町民や町にゆかりのある人による様々な出来事や心情が、俳句や短歌、エッセイなどにより多様な表現でつづられていますのでぜひご覧ください。

掲載作品

特集「地元くふるさと」、エッセイ、短歌、俳句、郷土史など

販売場所

文化センター、御影公民館

販売価格 1冊600円

問 社会教育課社会教育係

☎ 62・5115

駅前駐輪場の利用について

十勝清水駅前や御影駅前にある駐輪場に、長期にわたり放置されている自転車などは、移動をお願いする「警告書」を取り付けます。その後も移動していない場合は撤去し、返還する場合は手数料がかかります。

また、6か月間保管後も返還の申し出がない場合は、その自転車などを処分します。

なお、冬期間に駐輪場を利用する人は、除雪などの妨げにならないよう駐輪場の中に停めるようご協力をお願いします。

問 建設課住宅都市係

☎ 62・2113

水資源保全地域内の土地取引行為には事前届出が必要です

北海道では、豊かな水資源の恵みを将来の世代においても享受できるように、全国に先がけて「北海道水資源の保全に関する条例」を制定しています。条例に基づき指定された水資源保全地域で土地取引を行う場合は、契約締結の3か月前までに、その土地を所管する総合振興局・振興局などに届出が必要です。

問 北海道総合政策部計画局

土地水対策課水資源保全係

☎ 011・204・5178



ホームページ

井戸水利用者支援金支給事業
のお知らせ

井戸水などを利用しており、水道料負担軽減対策支援事業の支援を受けられない世帯を対象に、井戸水利用者支援金を支給します。

●対象世帯

給水区域外などのため、水道料負担軽減対策支援事業の対象外となる世帯

●申請方法

対象になると思われる世帯へ令和7年11月（予定）に申請書を郵送しますので、必要書類を提出してください。

●支援金

令和7年4月から令和7年9月まで6か月分の水道基本料金相当額

※住所変更などがあれば対象月数分のみ

問 町民生活課生活環境係

☎ 62・1151

国の教育ローン（日本政策金融公庫）のご案内

高校、大学などへの入学時・在学中にかかる費用を対象とした公

運転免許証の自主返納臨時
窓口の開設について

運転免許証を返納する際は、新得警察署や帯広運転免許試験場で返納手続きを行わなければいけません。交通手段などの負担軽減と、自主返納した際の支援説明、申請を同時に行える臨時窓口を町内に開設します。

●日時 12月24日（水）

・9時～11時

保健福祉センターロビー

・13時30分～14時30分

御影公民館大集会室

●料金 1,150円

※運転経歴証明書発行手数料（必要な人のみ）

●持ち物

・自動車運転免許証

・証明写真（当日無料撮影可）

問 町民生活課住民活動係

☎ 62・1151

清水町子ども作品展示会

町内小中学校の児童・生徒による書写・書道、絵画・デザイン、彫塑・工作などの作品展示会を開催します。

的な融資制度です。お子さま1人につき350万円以内を、固定金利（年3.15%（令和7年9月1日現在））で利用でき、在学期間中は利息のみのお支払いとすることができます。

詳しくは、ホームページをご確認いただくか、問い合わせ先までご連絡ください。

問 教育ローンコールセンター

☎ 0570・008656

（ナビダイヤル）

☎ 03・5321・8656



ホームページ

簡単管理 全額非課税 掛金助成
退職金は、国の制度を賢く活用

中退共 小企業 職金 済制度

「中退共」で検索!

(独)勤労者退職金共済機構
中小企業退職金共済事業本部
TEL (03) 6907-1234

●会場 文化センター大集会室

●対象 町民

●料金 無料

問 学校教育課学校教育係

☎ 62・5138

骨粗しょう症検診のご案内

骨粗しょう症の予防、早期発見・早期治療を目的に検診を行います。検査は、ごく微量のX線で前腕の骨量を測定します。

●日時

令和8年3月31日までの第1・第3月曜日

・13時30分～14時30分

●会場 清水赤十字病院

●対象 18歳以上の女性町民

※妊娠の可能性のある人は検診を受けることができません。

●料金 600円

※生活保護世帯は無料（受付時にお申し出ください）

●定員 20人

●申込

検査希望日前日までに清水赤十字病院（☎62・2513）に予約してください。

問 保健福祉課健康推進係

☎ 67・7320

清水町乳児保育金助成制度

生後10か月までの子どもを個人に預けた場合、その費用の一部を助成します。

●助成要件

次の3つの条件を満たす場合に申請に基づき助成します。

- ① 町内に居住する個人（同一世帯に居住する人や3親等以内の親族を除く）に有料で預けた場合
- ② 1日8時間以上預けた場合
- ③ 月20日以上で3か月以上継続し

て預けた場合

●助成額

支払った額の2分の1以内で、87,000円を上限とします。

●必要書類

申請には、申請書、家庭状況報告書、稼働証明書、月額収入確認書、保育料の領収証が必要です。

問 子育て支援課子育て支援センター

☎ 69・2226



ホームページ

「かも」でもいいんです。
気になったら189に電話しよう!

虐待かも…そうじゃないかも…

いつも夜遅くに1人でのかも…気のせいかも…

いつもより泣き方が激しいかも…たまたまかも…

おせっかいかも…助けになるかも…

イチャハヤク 189

子育ての悩みには、子どものため相談189

親子を救うプロがいます。

す。詳細は町ホームページまたは問い合わせ先までご連絡ください。

●日時

令和8年3月末まで

※医療機関に直接予約をしてください。

●会場

・子宮がん検診

帯広厚生病院、慶愛女性クリニック

・乳がん検診

帯広厚生病院、北斗クリニック、めぐみ乳腺クリニック

※帯広厚生病院の子宮がん検診は、過去2年間に婦人科外来の受診歴がなければ当日受付のみになり、乳がん検診と同日受診ができません。

●対象

・子宮がん検診

・20歳以上の女性町民

・乳がん検診

・30歳以上の女性町民

※帯広厚生病院は40歳以上

問 保健福祉課健康推進係

☎ 67・7320



ホームページ

子宮がん・乳がん検診のご案内

がんの早期発見のために行いま



ホームページ

CT肺がん検診のご案内

肺がんなどの肺疾患を早期発見するため行います。

※年度内に町からの助成を受けて胸部レントゲン検査を受診した人は対象外です。

●日時

月～金曜日の呼吸器外来診療時間内

※医療機関に直接予約をしてください。

●会場 帯広中央病院

●対象 40歳以上の町民

●料金 胸部CT検査 4,800円
喀痰検査 900円

●申込期限 令和8年3月末

問 保健福祉課健康推進係

☎ 67・7320



ホームページ

町民と町長との「まちづくり懇談会」を開催します

町民の皆さんと町長が、まちづくりについて語り合う「まちづくり懇談会」を開催します。
 皆さんの意見を伺いながらまちづくりを進めていきたいと思いますので、多くのご参加をお願いします。

企画課企画統計係
 ☎62・2114

主な地域	まちづくり懇談会会場	開催月日	開催時間
北熊牛	北熊牛福祉館	11月25日(火)	10：30～11：30
人舞	人舞福祉館		15：00～16：00
上清水	上清水福祉館	11月26日(水)	9：10～10：10
羽帯	羽帯福祉館		10：30～11：30
熊牛	熊牛福祉館		13：10～14：10
旭山	旭山福祉館		15：00～16：00
上羽帯	少年自然の家	11月27日(木)	13：00～14：00
御影地域	御影公民館2階講義室		18：30～19：30
下佐幌	下佐幌福祉館	11月28日(金)	9：30～10：30
美蔓	美蔓福祉館		11：00～12：00
字清水	北清水福祉館		13：30～14：30
松沢	松沢福祉館		15：15～16：15
清水市街	役場地下大会議室		18：30～19：30

※ 下人舞は日程調整中のため、決定後に町ホームページなどでお知らせします。



牛乳消費拡大キャンペーン

～牛乳いっぱい飲んで清水町の美味しいをGET！～

ご応募いただいた中から、抽選で30名様に清水町の特産品が当たります！
 特賞（1名）：十勝若牛詰め合わせセット＆ハーモニーギフトカード2万円
 1等（3名）：十勝若牛ステーキ＆カップソフトセット など

応募方法

- 品質保持期限の日付表示が令和7年11月14日以降の牛乳パック（1ℓサイズ以上）5ℓ分を1口として応募してください。
- 牛乳パックは水洗いし、乾燥後、品質保持期限の日付入り面（1/4面）を切り取り、1口毎に応募してください。
- 清水町役場ロビー、御影支所ロビーに設置されている**応募専用封筒**に必要事項を記載し、**応募専用BOX**に投函してください。

注意事項

- 製品メーカーは問いませんが、コーヒー牛乳、フルーツ牛乳、カフェオレ、カルピスの類、1リットル未満のパックは応募対象外です。
- お一人様何口でも応募できますが、当選は1人につき1回とします。

応募資格 町内在住の人

応募期間 12月15日（月）まで

当選発表 当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。（令和8年1月末日までに商品発送完了予定）

農林課畜産係 ☎62・2112

献血のお知らせ

移動献血車による献血を実施します。医療に必要な血液の確保は一人ひとりの献血に支えられていますので、みなさんのご協力をお願いします。

また、ラブラッド会員限定で献血のweb予約ができます。詳細は日本赤十字社ホームページをご覧ください。

日時

- 12月12日（金）
9時30分～10時15分
ハーモニープラザ
- 10時45分～11時45分
ホクレン清水製糖工場
- 13時45分～15時15分
あさひ荘
- 16時～16時30分
JA十勝清水町御影支所前

対象

16歳～69歳（65歳～69歳の人は60歳～64歳までに献血の経験がある人）

保健福祉課健康推進係

☎67・7320



ホームページ

除雪サービスのご案内

11月から翌年3月までの間、高齢者世帯などの除雪サービスを実施しています。おおむね10cm以上の降雪があった場合に、市街地は玄関から歩道までの人が通れる幅の除雪を行います。また、農村地区は町の除雪に合わせて実施します。利用申込・詳細は問い合わせ先へご連絡ください。

対象

- ・おおむね65歳以上の独居、高齢者のみの世帯及びこれに準ずる世帯で虚弱又は身体的理由により除雪が困難な世帯
 - ・重度身体障がい者世帯で除雪が困難な世帯
- ※同地域に親族が居住している場合は利用対象外となる場合があります。

料金

無料

保健福祉課在宅支援係

☎69・2233



清水町消費生活センターだより
 保健福祉センター1階 平日10:00～15:00 ☎62-2688

電話勧誘で契約したモバイルWi-Fiルーターと通信サービス



通信料金が今より安くなると言われたので乗り換えることにした。同時にモバイルWi-Fiルーターの変更が必要と言われ契約した。契約書が届くと、通信サービスは2年間続けることになっており、途中解約すると解約料がかかることや、ルーターの端末代は3年間分割で支払うことがわかった。

消費生活センターからのアドバイス

通信サービスは、契約書面を受け取ってから8日間が経過するまでは、利用者の都合によって契約解除できる「初期契約解除制度」の利用が可能です。手続きは、書面での通知が原則です。

またモバイルWi-Fiルーターは、特定商取引法の電話勧誘と考えられ、クーリング・オフができますので、これも書面で通知しましょう。

- ☞電話で勧誘されてもすぐに契約せず、なぜ安くなるのか説明をしっかりと聞きましょう。
- ☞様々な端末とセットで販売されたり、有料オプションなども勧められたりします。サービス内容、契約先となる事業者、料金その他の費用、違約金の有無を確認しましょう。



まちの未来を担う子どもたちに
将来の夢や地元への想いをインタビュー



まちの魅力を
感じて欲しい
です!!

若原 めいさん
清水中学校2年生

清水をみらいにつなぐ vol.26
Connect to the Future of SHIMIZU

しみず「教育の四季」子どもフォーラムで、清水中学生が“地域の魅力を伝えるマンホールの製作”を提案していて、そのときに私が応募したデザインが清水町の新しいマンホールに選ばれました。清水町は人よりも牛が多いので、自然豊かな環境で牛がリラックスしている表情にしたのがデザインのポイントです。選ばれると思っていなかったのが驚いたのと、家族に「選ばれて良かったね」と言われてすごくうれしかったです。実物を見てみると、自分が描いた絵がマンホールになっているのを実感して感動しました。

ハーモニープラザ横(向かって建物左側の通

路)に設置されるので、マンホールを見てくれた人には、自然の豊かさや牛の表情から、まちの魅力を感じて欲しいと思います。

将来の夢は、まだはっきりと決まっていませんが、自分の好きなことができる職業に就きたいので、学校の勉強にはしっかりと取り組むようにしています。私はお姉ちゃんが大好きで、勉強を頑張っているお姉ちゃんみたいな努力家になりたいです。

学校の行き帰りなどで、まちの人たちに挨拶したときに、にっこりした笑顔で返してくれて、人が優しいところが清水町の好きなところですよ。

11.27 THU
2025

しみず「教育の四季」
子どもフォーラム

—— 清水ミライ若者会議 ——

町内小・中学生と清水高校生が「清水町の未来」について、自分たちの考えを発表します。どなたでも見学できますので、ぜひ子どもたちの考えを聞きにお越しください。

2025年10月末現在 / Population

人口	8,646 人 (- 7)
男	4,319 人 (- 5)
女	4,327 人 (- 2)
世帯	4,653 戸 (- 4)

※ ()内は前月比

15:30 ▶ 17:10 会場 文化センター大集会室
(受付開始 15:00~) 問 学校教育課 ☎ 62・5138

『HELLO BABY♥』では、6カ月から2歳くらいの赤ちゃんを募集しています。掲載を希望される人は企画課広報広聴係(☎ 62・2114)までご連絡いただくか、げんきひろばでお声がけください。